

第31回医療情報学連合大会および、日本歯周病学会・日本歯科医療管理学会共催企画「歯科の診療録電子交換に必要な歯周検査結果の標準化について」

第31回医療情報学連合大会（鹿児島：11/21-23）では、日本歯周病学会会員は会員の参加費で参加することができます（2千円引き）。

大会HP：<http://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~medinfo/jcmi2011/>

参加登録HP：

<http://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~medinfo/jcmi2011/participation/registration.html>

以下が、「共同企画団体・学会」となります。

日本歯周病学会／日本遠隔医療学会／日本産婦人科医会／デジタル・フォレンジック研究会／日本病院薬剤師会／電子情報通信学会／日本生体医工学会 日本クリニカルパス学会／日本糖尿病学会／医療機能評価機構認定病院患者安全推進協議会、IT化・情報機器部会／日本医学放射線学会／日本放射線技術学会

11月22日(火) 9:00-10:30に F会場 鹿児島サンロイヤルホテル内（190席）で日本歯周病学会・日本歯科医療管理学会との共催企画で「歯科の診療録電子交換に必要な歯周検査結果の標準化について」題したセッションを開催します。

<座長の玉川先生の企画書より>

歯周病は他の歯科疾患に比べ治療経過が長いが、定期的な口腔ケアを継続することで安定期を長く保てることが知られている。歯周病の進行状況を把握するために行われる歯周検査は、保険診療でも認められ広く普及しており、歯周ポケット深さや歯口清掃の状況を電子的に記録するアプリケーションも多数開発されている。しかしながら、蓄積されたデータを交換するための電子フォーマットは今のところ標準化されていない。そこで、大学病院や診療所の歯科医の他、歯周検査データを入力できる機器を作っているメーカーの担当者も加わったワークショップを日本歯周病学会および日本歯科医療管理学会と共同で開催し、何をどこまで標準化できるかとその影響について検討を行う。